

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版|使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)井手多賀パーク新築工事 A	階数	地上1F
建設地	京都府綴喜郡井手町大字多賀小字	構造	S造
用途地域	市街化調整区域内 防火区域なし	平均居住人員	XX 人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2023年10月10日
敷地面積	5,920 m <sup>2</sup> /	作成者	(株)日匠設計 森田 恭介
建築面積	2,341 m <sup>2</sup> /	確認日	202●年●月●日
延床面積	2,332 m <sup>2</sup> /	確認者	〇〇〇

外観パース等  
図を貼り付けるときは、  
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.2 ★★★★★ ☆☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q のスコア = 2.7		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 2.7</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.3</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.2</p>

LR 環境負荷低減性		
LR のスコア = 3.5		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 4.1</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 2.8</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.5</p>

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
交通量の多い道路に面するため、遮音対策に配慮し、快適性に重視した設計とした。	0	
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部に接する壁、屋根は断熱材を設置し、断熱性能の向上に努めた。</li> <li>施設内禁煙とし、空気室環境に配慮した。</li> </ul>	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>売場の天井高を3.6mとし、利用者の快適性を高めた。</li> <li>耐用年数の長い設備配管の採用により、建物の長寿命化を図る。</li> </ul>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>建物の形状について周辺環境に配慮した計画とした。</li> </ul>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>省エネ性の高い機器を選定した。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水機器を採用し水資源の保護に努めた。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大気汚染源の少ない燃焼器具を採用した。</li> <li>施設利用者の利便性を高めるため、大店立地法に基づき敷地内計画をした。</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃業に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される